

卒園生のご家庭へ

羽ばたけ!! 白ゆりの子

白ゆりと言う苗床で育った苗は、小学校と言う田んぼに移されます。年長児104名の巣立ちです。苗床とは違う環境が待っており、風の強い日もあれば寒い日もあります。育った苗は、健やかな育ちを支える根っこはしっかりと育っております。

幼稚園は親が選びました。でも小学校は選べません。どの子どもと与えられた環境のどとで精いっぱい頑張っほしい。良き出会いに恵まれる事を心から願っております。

この3年間は数々の課題に挑戦の毎日でした。沢山の失敗、沢山のくやし、沢山の汗、そして沢山の喜びを経験しました。この経験が子どもたちの心を育ててくれました。自分が苦勞して汗を流して来たから他人の痛みが分かる子に育ちました。「思いやり」です。お父さん! お母さん! これから子どもたちのこの「心」を大切に育ててあげてください。

お預かりいたしましたお子さんを、ご両親の元へお返しいたします。ひとりひとりから「意欲」を引き出す園生活でした。これから我が子の「やる気」を巧みに引き出してあげてください。

子どもは無限の可能性を帯びております。出来ない子なんて居りません。近道よりも、遠まわりの経験は子どもを逞しく賢く育てます。平坦で向と障害物が無い掃き清められた道を行くよりも、岩あり穴あり山ありの道を自分で考えながら行く経験は子どもの「心」を育ててくれます。

「意欲」と「思いやり」と言う「根っこ」を育ててくれました。

教育は植木と言われます。小さくて細い苗木がすくすくと育ち、やがて20年後30年後40年後に沢山の枝を伸ばし、沢山の葉が生い繁り、新しい風を吹き出すように、巣立ち行く子どもたちもやがて新しい風を吹き出す大人として活やくして欲しいと、心から願っております。

今年度104名の巣立ちで、この47年間に5,219名の卒園生を数えます。ご承知のとおり、卒園生が家庭を持って生まれたお子さんを入園させてくれるようになってから久いですが、私にとってこんなにうれしい事はご座居ません。やがてお孫さんの入園も夢ではありません。そんなうれしい事実を楽しみにしております。

さて、これ迄に寄せられましたご家庭のご理解とご協力に心からお礼を申し上げ、お子さまたちの健やかな育ちを願ってご挨拶いたします。

学校法人札幌白ゆり学園
理事長 小柳 裕彦